

第2回 技術情報防衛シンポジウム ～企業の大切な技術情報を守るために～

日時

平成 27 年 1 月 27 日 (火)

10 : 00 ~ 16 : 20

会場

日本消防会館 (ニッショーホール)

(東京都港区)

共催 :



国際知的財産保護フォーラム



一般社団法人 日本知的財産協会



独立行政法人 情報処理推進機構



経済産業省

目次

シンポジウムプログラム.....	1
開催にあたって.....	2
講演者・モデレーター・パネリストの紹介.....	3

講演資料

講演Ⅱ

・内部不正 どう対応するか

丸山満彦氏（デロイトトーマツリスクサービス株式会社 代表取締役社長
/デロイトトーマツ サイバーセキュリティ先端研究所 所長）

講演Ⅲ

・営業秘密をめぐる韓国の概況

岩谷一臣氏（特許庁総務部総務課 企画調査官
/前ジェトロソウル事務所 副所長）

講演Ⅳ

・中国における営業秘密漏えいの実態、及びこれに対する効果的な対応方策

分部悠介氏（IP FORWARD グループ総代表・CEO
/同法律特許事務所 代表弁護士・弁理士）

シンポジウムプログラム

9 : 15 開場

10 : 00～10 : 10 開会の挨拶

(一般社団法人日本知的財産協会 営業秘密PJリーダー 佐々木剛史)

講演Ⅰ

10 : 10～10 : 30 「営業秘密保護に向けた取組について」

木尾修文氏 (経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室長)

講演Ⅱ

10 : 30～11 : 40 「内部不正 どう対応するか」

丸山満彦氏 (デロイトトーマツリスクサービス株式会社 代表取締役社長
/デロイトトーマツ サイバーセキュリティ先端研究所 所長)

11 : 40～12 : 40 昼休憩

講演Ⅲ

12 : 40～13 : 25 「営業秘密をめぐる韓国の概況」

岩谷一臣氏 (特許庁総務部総務課 企画調査官
/前ジェトロソウル事務所 副所長)

講演Ⅳ

13 : 25～14 : 10 「中国における営業秘密漏えいの実態、及びこれに対する効果的な対応方策」

分部悠介氏 (IP FORWARD グループ総代表・CEO
/同法律特許事務所 代表弁護士・弁理士)

14 : 10～14 : 25 休憩

パネルディスカッション

14 : 25～16 : 15 「海外における技術情報防衛方法について」

モデレーター 峯木英治氏 (株式会社ブリヂストン 知的財産本部 本部長)

パネリスト 岩谷一臣氏 (特許庁)

分部悠介氏 (IP FORWARD)

阿部豊隆氏 (TMI 総合法律事務所 弁理士・加フォルニア州弁護士
/元日本マイクロソフト知的財産部長)

三原秀子氏 (帝人株式会社 技術本部 本部長補佐 (知的財産担当)
/帝人グループ理事)

16 : 15～16 : 20 閉会の挨拶

(独立行政法人情報処理推進機構 技術本部 セキュリティセンター
情報セキュリティ分析ラボラトリー長 小松文子)

16 : 20 閉会

開催にあたって

本日は、「第2回 技術情報防衛シンポジウム」へご参加いただき、誠にありがとうございます。第1回に引き続き、今回も多くの皆様に参加のお申し込みをいただき、規模を拡大しての開催となりました。

第1回の導入編に続き、今回は予防編として、米中韓など海外の情報を中心に紹介し、日本企業がどのような体制を整えるべきかについてディスカッション致します。

直近の企業意識調査「企業リスクマネジメント調査（2014年版）」（トーマツ企業リスク研究所）によれば、全回答企業239社のうち、31%が優先すべきリスクとして「情報漏えい」を上げ、項目別で1位となっています。

この調査を過去から追ってみると、震災や、極端な円高によるグローバル競争力の低下時など、一時的に順位を落とすことはありましたが、その状況下にあっても、優先すべきリスクとしての「情報漏えい」は常に順位が高く、社会情勢に鋭敏に左右されやすいと言われている企業意識の中で最大の関心事であり続けたことがわかります。

しかし、このような企業の意識にも関わらず、情報漏えいの事件が発生し続けているのも事実です。

昨今国家間レベルの問題として改めてクローズアップされているサイバーセキュリティ等に関しては、海外においては、国家戦略の策定・体制強化についても、各企業の体制強化についても、日本より進展しています。

これは、日本は性善説に立った情報漏えいへのリスク対策を講じてきたのに対し、海外では性悪説に立って、内部不正対策も含めて情報セキュリティを普及させてきたためであると言われています。

さらに、情報漏えい事件の手口の巧妙さについても、海外が日本を数年先行していると言われており、我々の情報防衛能力はまだまだ不十分であると仮定せざるを得ません。従って今回、海外で生じている情報漏えい事情を知ることは、これからというより、正に今生じているかもしれない事態へ対策をとるために非常に重要なことであると言えます。

政府は企業の営業秘密を漏えいしたときの罰則を厳しくするべく、今年の通常国会で不正競争防止法の改正案を提出する見通しであり、さらに昨年はサイバーセキュリティ基本法が成立し、国を挙げての体制強化が進んでおります。

これら政府の取り組みと車の両輪をなす形で、日本企業の技術情報保護体制強化の一助となることを、このシンポジウムの狙いとしていることは、前回述べた通りです。

この動きを今回のシンポジウムを通じてより強固なものとなれば幸いです。

平成27年1月27日
一般社団法人 日本知的財産協会
営業秘密プロジェクトリーダー 佐々木 剛史

講演者・モデレーター・パネリストの紹介

【講演者】

木尾 修文 (Osafumi Kio)

経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室長

<経歴>

- 1997年3月 東京大学法学部卒
- 1997年4月 通商産業省入省（特許庁総務課）
- 1999年6月 産業政策局企業行動課
- 2002年1月 製造産業局自動車課
- 2002年6月 大臣官房会計課
- 2004年6月 外務省（在マレーシア日本大使館）
- 2007年6月 経済産業政策局産業組織課
- 2008年6月 商務情報政策局商務課
- 2009年7月 消費者庁総務課
- 2011年7月 製造産業局化学物質管理課
- 2013年6月 特許庁総務課（政策企画委員）
- 2014年7月 経済産業政策局知的財産政策室長

丸山 満彦 (Mitsuhiko Maruyama)

デロイトトーマツリスクサービス株式会社 代表取締役社長

デロイトトーマツ サイバーセキュリティ先端研究所 所長

<略歴>

1992年監査法人トーマツ入社。1998年より2000年まで米国のDeloitteに勤務。製造業グループ他米国企業のシステム監査を実施。

帰国後、リスクマネジメント、コンプライアンス、情報セキュリティ、個人情報保護情報関連のコンサルティングを実施。

経済産業省情報セキュリティ監査研究会、情報セキュリティ総合戦略策定委員会、個人情報保護法ガイドライン策定委員会他、国土交通省、厚生労働省、総務省の情報セキュリティ関連の委員を歴任。日本情報経済社会推進協会ISMS技術専門部会、ITSMS技術専門部会、日本データ通信協会プライバシーマーク審査会等の委員を歴任。

2012年3月まで内閣官房情報セキュリティセンターで情報セキュリティ指導官を兼務。

岩谷 一臣 (Kazuomi Iwatani)

特許庁総務部総務課 企画調査官

<略歴>

平成 4 年特許庁入庁。

平成 8 年に審査官昇任後、特許情報課、特許審査調査室、調整課人事担当、ヨーロッパ特許庁派遣を経て、平成 19 年に審判官昇任。

その後、審判課法規担当、主任上席審査官、ジェットロソウル事務所副所長を経て、平成 26 年 7 月より現職。

分部 悠介 (Yusuke Wakebe)

IP FORWARD グループ総代表・CEO/同法律特許事務所 代表弁護士・弁理士

<略歴>

日本国弁護士（登録番号：31050）・弁理士（登録番号：19385）

東京大学在学中 1999 年司法試験合格、2000 年同大学経済学部卒業。

同年株式会社電通入社、映画・音楽・キャラクタービジネス等のコンテンツビジネス実務に関与。

2003 年弁護士登録。同年、日本最大級の総合企業法務弁護士事務所の長島・大野・常松法律事務所に入所し、企業法務、知財法務全般に関与。

2006 年から 2009 年まで、経済産業省模倣品対策・通商室に出向し、初代模倣対策専門官弁護士として、中国、インド、東南アジア、中近東諸国の知的財産権法制度の調査・分析、関係各国政府との協議、権利者企業からの知的財産権侵害被害に係る相談対応などを担当。

2009 年に渡中後、模倣品対策専門調査会社、中国律師事務所での勤務を経て、IP FORWARD グループを創設。

現在、同グループを統括すると同時に、多くの日本、欧米企業に対して、中国、知財に係る問題を中心にサポートしている。

<IP FORWARD ホームページ>

<http://www.ip-fw.com/>

【モデレーター】

峯木 英治 (Eiji Mineki)

株式会社ブリヂストン 知的財産本部 本部長

<略歴>

- 1980年3月 東京大学 理学部 物理学科卒業
- 1980年4月 株式会社ブリヂストン入社
- 2000年11月 同社 TB タイヤ開発部長
- 2001年7月 同社 OR タイヤ開発部長
- 2003年11月 ブリヂストンアメリカ アクロン技術センター派遣
同社生産財タイヤ開発担当 VP
- 2008年10月 株式会社ブリヂストン AG・CV タイヤ開発部長
- 2009年7月 同社 知的財産第2部長
- 2010年4月 同社 知的財産本部長

【パネリスト】

阿部 豊隆 (Toyotaka Abe)

TMI 総合法律事務所 弁理士・米国弁護士 (カリフォルニア州)

元日本マイクロソフト知的財産部長

<略歴>

- 1997年3月 名古屋大学大学院 工学研究科 修了
- 1997年10月 創英国際特許法律事務所勤務
- 2004年4月 オリフ法律事務所駐在 (ワシントン DC 地区)
- 2005年5月 創英米国オフィス設立及び勤務 (シリコンバレー地区)
- 2007年10月 米国マイクロソフト本社知的財産部入社 (シアトル地区)
- 2011年4月 日本マイクロソフト株式会社入社
知的財産部長 兼 アジア地区特許ディレクター
- 2012年4月 JIPA 総合戦略会議・知的財産 WG、特許第2委員会委員長代理等
- 2014年10月 TMI 総合法律事務所勤務

三原 秀子 (Hideko Mihara)

帝人株式会社 技術本部 本部長補佐 (知的財産担当)・帝人グループ理事
<略歴>

1974年3月 千葉大学 薬学部 薬学科卒業

1974年4月 帝人株式会社入社

1990年11月 弁理士試験合格・弁理士登録

2002年4月 知的財産センター長

2003年4月 (株)帝人知的財産センター 代表取締役社長

2011年6月 帝人グループ常務執行役員

2012年10月 帝人株式会社 知的財産部長

2014年4月 帝人株式会社 技術本部本部長補佐 (知的財産担当)・帝人グループ理事

講演資料